

高松市で「Web×IoT メイカーズチャレンジ 2019-20 in 香川」を開催 《IoTの基礎知識とハンズオンによる技能を習得しハッカソンを体験》

四国総合通信局(局長:川村 一郎)は、Web×IoTメイカーズチャレンジ香川運営委員会とともに、令和元年11月2日(土)～3日(日)及び11月30日(土)～12月1日(日)の日程で、香川県高松市の情報通信交流館(e-とぴあ・かがわ)において、「Web×IoT メイカーズチャレンジ 2019-20 in 香川」を開催しました。

このイベントは、IoTを活用できる人材を育成することを目的とした、総務省の「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」※の一環として開催したもので、IoT機器・サービスの開発者を目指す若者など20名が参加しました。

前半日程のハンズオン講習会では、電波のリテラシーを含むIoTの基礎知識に関する講義の後に、今回のハッカソンで利用する高松市の情報通信基盤について説明を受けました。次に、小型で安価なPCを使用したプログラミングの方法を学び、PCに接続した様々なセンサーからのデータに応じてモーター等を動作させるとともに、センサーで取得したデータを高松市の情報通信基盤に送信し、複数のセンサーデータの時系列変化などを確認しました。

その後、ハンズオン講習で習得した知識や技能を活かして、各チームが地域課題解決のためのアイデアワークショップを行い、制作する作品のイメージとスケジュールや役割分担を検討しました。

後半日程のハッカソン体験では、各チームとも予め調達した材料や機材とともに制作中の作品を会場に持ち込み、作品の完成度を高めるための議論を重ね、プログラム内容を含めた様々な検討や動作確認を行いながら作品を仕上げました。

最終日の午後からは、各チームが制作した作品のテーマや特徴を発表するとともに、審査員が質疑応答を行いながら様々な観点から評価し、最優秀作品を選出しました。最優秀作品受賞者は、年度末に東京で行われるイベントに招待されます。

終了後の交流会では、審査員やスタッフを含めた参加者が、普段は交流のないそれぞれの世代をこえて、プログラミングや作品、地域課題などについての意見交換を行うなど、有意義な機会となりました。

四国総合通信局では、今後もICT/IoT利活用に関するセミナーを開催するなど、地域課題の解決に向け人材育成に引き続き努めてまいります。

※「IoT機器等の電波利用システムの適正利用のためのICT人材育成事業」

今後、多様な分野・業種において膨大な数のIoT機器の利活用が見込まれる中で、多様なユーザや若者・スタートアップの電波利用に係るリテラシー向上を図ることが不可欠であることから、IoTユーザを対象とした地域毎の講習会や体験型セミナー、若者・スタートアップを対象としたハッカソン等の取組を推進し、IoT時代に必要な人材を育成することを目的とする事業です。

「Web×IoT メイカーズチャレンジ 2019-20 in 香川」の概要

ハンズオン講習会(令和元年11月2日(土)～3日(日))

IoTの基礎知識や技能を習得するための座学講習と、ボードコンピュータを使ってセンサー等を実際に制御することにより、IoT開発のベースとなる知識を体験しながら学ぶ実践講習

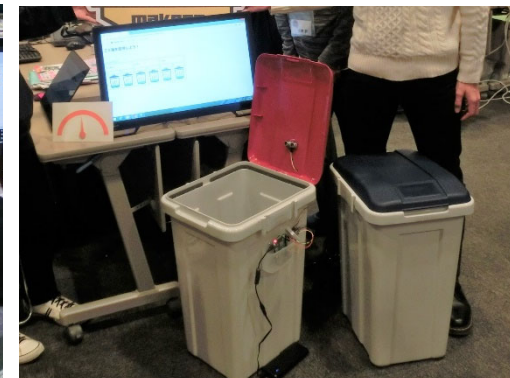
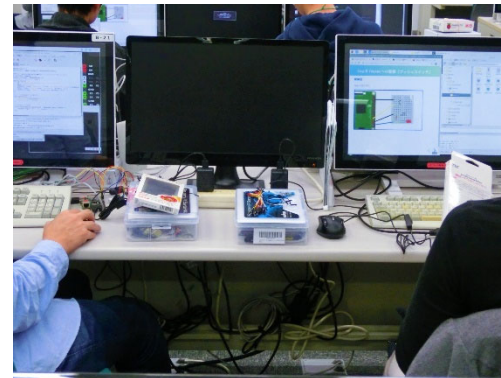
ハッカソン体験(令和元年11月30日(土)～12月1日(日))

ハンズオン講習で習得した知識や技能を活かし、チームでアイデアを出し合いながら地域の社会課題を解決するIoT作品のプロトタイプを創作し、その成果を発表

主催:四国総合通信局、Web×IoTメイカーズチャレンジ香川運営委員会

協力:四国経済産業局、四国経済連合会、四国情報通信懇談会、かがわ情報化推進協議会、香川マルチメディアビジネスフォーラム、みとよAI社会推進機構MAiZM、香川高等専門学校、日本電気株式会社、NPO法人日本Androidの会香川支部、IoT ALGYAN

後援:スマートIoT推進フォーラム、香川県、高松市



ハンズオン講習会とハッカソン体験の様子

【お問い合わせ先】

情報通信部 電気通信事業課 089-936-5044